夕刊 磐城新聞
七月二十二日發行
(日曜祭日翌日休刊)

「平町新風景」論 (下)

白木英尾

私の思ひ出すところでは なんでも最初は郷土情緒にそくはない文章を無理に拉しきて新風景を捏ちあげてゐた觀があつた。新聞製作上の所謂カンニングのために題材の面白さはあつても讀者は今日ほど顧りみなかつた。そのため『新風景』の筆者は、一時取材に行き詰つた。そして非常に苦心した。然し、元來、新聞の製作は氣分の問題である。氣分といふ言葉は漠然としてゐるが、とにかくヂャーナリステツクな氣分の横溢した日には立派な新聞が出來るのである。一度取材に苦心した後は氣分がいゝと見えて漸くこの頃から郷土色彩が濃厚になつて『平町新風景』も、いたについて來た。そこで讀者の方でもこれでいゝと安心した。妙なものである。

新風景中、なめくぢの・ロ正體を見極める際『目性の悪い風景子』と告白してゐる如く、この目性は讀書家を思はせる。それも濫讀である。新風景至る處に散見するあらゆる方面の文章引例は強記博覧の人でなければ克く爲し得ない。然し新風景にとつて、この博覧強記は、やゝもすれば自縄自縛となる。東海道線を汽車に乘つて突然トンネルに入つた樣な、難字難語が讀者をして往々困迷に陷らしむる事である。尤もそれはヂャーナリストの効博な知識に驚いて、讀者の方で判つた様な顔をする。然し、このトンネルが頻發すると兎かく煤烟でむせつかへる漢字制限の時代だと云ふ惡口も出てくるわけである。

新風景のペンスタイルは新聞文跡を脱した所謂なんです調である。短時間を以て七八十行を仕上げるのには、この、なんです調が比較的イーシーゴーイングである。このペン・タイルは賢明であつたと言得る。時に輕妙洒々として讀者を輕くノックし、時に濃艶芬々として鼻を衝く、殊に、所謂下町情緒の描出乃至近代エ・テシズムを醱酵するあたりは寔に微に入り細を穿ち過ぎて、時に墮落する。然し、これが取材も助役問題や各種統計等に至つてはお仕舞である、讀んで行く上に負擔を與へては讀者が離れて行く、これはやつぱり新『風景』でないと收まらない。如何なる風景
—如何なる問題ではない
如何なる風景を如何なるタッチで運んで行くか、それは筆者對個人的連鎖を多分に含んだ郷土紙特有の興味である。

ニユース性、これはこの讀みものが世間からアブラウドされるまでの新聞學的主要論據をなすものである勿論小説や講談類は此際問題外である。新聞紙上の連載物にニュース性を缺いたならば、讀者は一人二人と失はれて行くばかりである變轉限りなき題材を自由自在に驅使して而もそれにニユース性を加味するが故に『平町新風景』には倦怠がない。讀者と取材との間に時間的存在が稀薄であるため讀者吸引率が明確に動いてゐる。即ち題材と讀者が近時間上に在り得るに因る。これは新聞の讀みもの編輯に際して相當大切な事柄であると思ふ。そして『平町新風景』の讀者層が今日の如く廣がつた所以の折半をなすものであらうと思ふ。(完)

三たり目の男の子

赤井嶽男

三人目のをの子を得たり朝な朝な。みあかし上げておろがむよわれ

あ子いだく膝の温みと美まし酒と。七夜の宵をわれいたく醉ひぬ

あり餘る乳に咽びてのど鳴らす。子の澁面をいとほしみ見る

三たり目の男の子の父はかにかくに。あるべしやなどおもひわづらふ

ながらく雨に襁褓乾すすべもなかりけり、今日も炬燵に湯氣立ちて居り

—けさ出勤途上にて—

時代警句 (蘆花)

○吾儕は奇蹟を驚異し、透視の人を尊敬し而して自身は平坦な道を歩いて道の導く處に行き度い…………(みみずのたはこと)

○奇蹟は今も吾等の眼の前に行はる……(同)

○大疾よく体質を新にす………(不如歸)

○志士の魂は決して死なぬ、大人の靈は萬古に生きて居る。生きて萬々世の後までも挺然流俗の外に奮ふ靈魂を勵まし云はずして而も相呼び應へて居る………(思出の記)

野ねづみ (童謠詩)

市川健次

麥は刈られて
ひろいひろい田圃
あぜみち、ちよろり
野ねづみひとり

麥やくけむりが
あかあか暮れりや
ちよろり走れど
目が目がかなし

拈華微笑

◇小手調べが長かつた四倉町の劃策ヤット本舞台に入る

◇自力本願の豊間港。得意滿面

◇法華の太鼓ぢや無いが幾ら之の天候ダッテ段々良くなるダロ

◇黄金厲專門と現金專門。泥棒に迄分業時代が來た乎!

◇暦ではモウ季夏。季節のオロヌキ事務簡捷は恐れ入つた

消息

△坂本孝正氏 マルトモ階上の個展を了え昨二十一日郡山を經て歸京

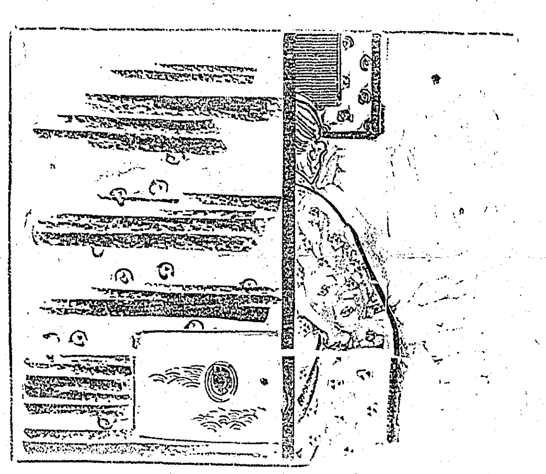
△白銀青年團 吾が白銀青年團一行二十四名は四臺の自動車に分乘平町を午前〇時出發、一百五十哩の行路を快走、また快走只今日光參拜貴家皆々樣の御健康を祈願致しました(十九日前十時加藤團長)

△大森義一氏 御地訪問の際絶大なる御援助により非常なる大成功を得たるシボレーキャラバン隊は本日當地方有力官民ゼ社重役並に關係各地代表者出席の下に寶塚ホテルに於て盛大なる解散式を擧行仕り候小生は樺太、北海道及東北を代表して出席仕り候(二十日寶塚ホテルにて)

講談 元祿名妓傳

小邑井小巴演 (宮野恒彦畫)

一三〇席



此時丁度寺尾彌左衛門夫婦が見舞に來ました、お房でもおふくろでも親類へ相談するところはございませんな、成程小西屋ほどの家ですから、一家親類あるには相應にあるが、人も落目になると致し方ないもので、ドノ親類もドノ親類も江戸構えと云ふのを好い事にして、顔一つ持つて來るものはない、此方から尋ねて往かれぬが付目なので……斯う云ふ親類はあつたところで役をしない、寺尾はお役柄もあるのだが、月に二度三度づゝ尋ねて來ては慰めて居ります、今では寺尾を杖とも柱とも頼んでゐる、其寺尾の了解を得なくては後々も困る、好い按配に其の寺尾が來たから、三浦屋は席を外して終ふ、お喜知も彌左衛門も今日はイツになくえましげな顔で 喜『阿母樣、今日は好い耳をお聞かせ申さうと思つて、斯うして揃つて來たのでございますよ』母『好い耳、夫れは結構でございますこと、私の方にも是非寺尾の旦那のお胸をお借り申し度い事が出來ましたので、喜助さんにでも往つて貰はふかと思つて居たところ、來て下すつてこんな有難いことはありません』喜『サア阿方好いお話をして上て下さいましよ』彌『ウムさうだイヤ何阿、上、外ではござらぬが大地震以來彼是れ最う半歳長い間かゝる田舍の詫住居も隨分大儀とも存じ、又父の六左衛門殿病氣にも好き醫者は此方になし、旁た心配の餘り町奉行の方へも寄り／＼、江戸拂ひ御免のことを願ひ置きましたところ、此頃に至り漸く再調へが届いたと見え、本町三丁目小西屋からの出火は地震のためで粗匆火でないと判り、其由公儀へ言上の手續きと相なりました、これは昨日のことで斯うなつた上は遠からず江戸構え御免となりませう、左すれば何とかしてに三丁目本町に元ののれんをお掛け遊ばすことも出來やうかお取上げになつた地所も必ず戻る譯でございますから定めしお喜びなさらうと存じ、今日其吉報お知らせかた／＼罷出たのでございます』六左衛門も傍にて是れを聞いて居りました、發狂以來何事も病人には聞かせずに居た、悪いことを耳にすれば心配し出して再び狂者とならぬとも限らぬ、夫故話さすに居たが是れは好い事であるから彌左衛門も構はずに話す、六左衛門。六『あゝ婿殿それは忝ない素々私は所拂ひを喰ふ様な落度はなかつたのだが、時の不祥は身の不祥で、斯ういふことになつて終つたダガ天道は誠を照らす、お疑ひが晴れて江戸構え御免、是れほど嬉しいことは無い夫れも是れも皆婿殿の志しからだ、あゝ有難いなア是れぞ全く日本晴れの様な氣がする』と喜んだの喜ばないのぢやアない、飛立つばかりに嬉しがつたが、忽ち顔を曇らせ 六『一ツ宜ければ又一ツで切角江戸へ入れる様になつたが、地所は下すつても地震と火事の跡二間間口でも普請をするには金が入る、アノ油町があア云ふ了見の奴でなければ二百や三百の金私が困ると云へば直にでも用立つて呉れるのが當り前だが、最う彼逸の面を見るのも厭、よ云つて外に大枚のお金を貸して呉れる人はなしあゝ困つたなアあゝどうかせめて百兩でも好い誰か貸して呉れる人は無からうかなア』と嘆息してふさぎ込む、流石の寺尾彌左衛門も金錢のことに掛けてはどうもなりません、スルトに房が。房『お父樣お金の御心配は無用でございます、お許しが出ますれば本町の元の處へ御普請なさるお金は私が調達致します』六『何を云ふ三兩や五兩の端た金ではなし、纏まつた金を女の分際で……』房『ハイ纏まつたお金が出來る途があるのでございます、澤山ではないが五百兩だけは出來ます』六『何の馬鹿なことを』

7月23日

△江戸城成る(慶長一一)△國姓爺生る(寛永元)△大逆金子文子獄に自殺す(大正一五)△朝鮮暴徒我公使館を襲ふ時の公使花房義質兵制改革を國王に進め國王之を容る、之を喜ばざるもの蜂起して事茲に及ぶ、義質等二十八人圍を脱して仁川港に至り英艦に搭じて歸朝す(明治一五)△バンカア、ヒル戰場記念塔成る、是れ獨立戰爭中殊に米國人が義勇の精神を現はせる處也(紀一八四二)

〔一日一禪〕

○
相逢當門有修竹
爲君葉葉起淸風

ラヂオ

仙臺 JOHK …廿三日(木曜)…

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立 日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座(豫防と健康と經濟) 醫學博士二木謙三
△正午A 時報
△後〇、〇五B 吹奏樂 一序曲歌劇(天國と地獄)外四曲
△〇、四〇A。ニュース 氣象通報 告知事項
△二、〇〇A 家庭大學講座(日本演劇史) 早大講師河竹繁俊
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇(子供の時間)幼稚園のうた 仙臺市能仁幼稚園々兒
△六、三〇A 東西文學の比較(希臘と諸威と日本) 中村吉藏
△七、〇〇 ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生繭相場
△八、〇〇A ラヂオドラマ(カチユーシヤ) 出演新築地劇團
△八、四〇A 尺八(三部合奏三谷)
△九、〇〇A 連續講談(荒木最後助太刀)一龍齋貞山
△九、四〇A 時報 ニユース 氣象通報 番組豫告 告知事項 生繭相場

廣告

御開店披露 菓子司 泉屋支店 藤田女學校隣

イヨの品 トビハナレてヤスイ文具 平マーケツト

夜間診療
胃腸 梅毒
内科部 十二指腸蟲病 專門
外科部 淋病 皮膚病 婦人病 專門
松村胃腸性病科醫院 (平南町電話一〇七番)

海草蒸氣療法
◎今が一番注意の時! 太り過る人、肩の凝る人、血壓の高き人、其他慢性諸病の方は即時來院あれ
胃腸病、神經痛、喘息、蓄膿症、リウマチス、脚氣、痔疾、諸疼痛、其他難病一切に卓効あり。
カイソーネーチヤ 平町大町 磐城分院 電話三七一番

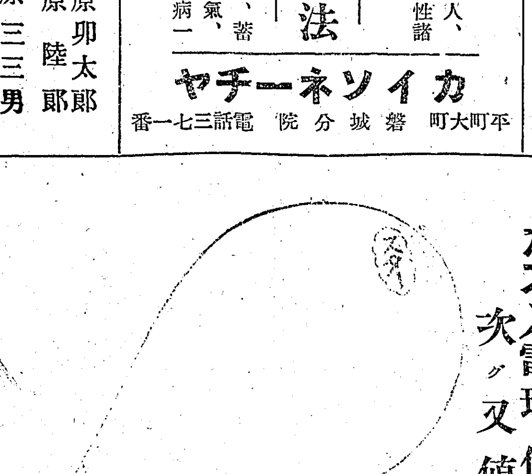
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、皮膚 梅毒、淋疾病 市原三三男
平町田町本通
市原醫院 電話一一四番 (入院隨意)

吉田眼科病院 平町紺屋町

夏服
◇輕裝上衣 黒セル3圓50錢より カシミヤ7圓80錢より
◇白直衣 1圓40錢より
◇ズボン 白セル2圓30錢より パンピス2圓50錢より
輕快な夏服の季節となりました。スマートな新製品が豊富に取揃へて御座ひます。
平二 あかや洋服店 電203

保險外務 社員招聘
年齢三十歳ヨリ五十歳位
平町附近在住ノ方
保證人二名ヲ要ス
望ノ方ハ平町磐東代理店主幹加藤丈夫氏ニ御面談詳細知ラレタシ
共保生命保險會社 仙台支店

内科 外科 臟器 花柳病 外科一般 (入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院 電話三〇九

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ

十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院 眼鏡科 電話十九番

自力で不足分を生む 四倉町民の意氣
漁業組合の負擔額捻出其他 工事着手前の善處策を練る

縣下に於ける漁港修築國庫補助は愈々松川浦に決定四倉港は縣豫算の變更決議後國庫補助無しで直に起工すると云ふ縣の意向を確め得たので地元では來月十八日の定例參事會にして順調に推移せば愈々其の實現を見るものとして過般來擧町鼎沸の衝動を起した全町民の焦躁は最近些か少康を得てゐる形ちである。而して同町百年の大計たる懸案の修港は今後果して如何なる豫算によつて完成さるゝ事になるかは一に縣の豫算編成に就て之れを窺知するより外無いが半額の國庫補助を前提としたる從來の計劃は總工費二十四萬餘圓の半額十二萬餘圓中の七萬圓を地元四倉町と漁業組合とに於て折半負擔する筈で今日に至つた處現在の漁業組合は從來の繼續的請願陳情の爲事情の許す最大限の支出をなし悉くした後とて差し當り先約を履行する資力なきに至つた爲最近町理事者と懇談を重ねたる結果町に於ても事情已むを得ざるものとして或る程度の諒解が出來上つたらしく彼此當面の策としては町有財産を擔保に某方面から融通を受くる事によつて組合の負擔額を調達する等の方法により着工前の善處を怠らぬ樣取り運ぶ事になるであらうと觀測さる

豐間漁港修築 全額地元負擔で 來月初旬着手決定

豐間村では總工費二十萬圓三ヶ年繼續事業として漁港の改修を計劃し今年度着工の豫定であつたが縣補助交附が見込通り行かなかつた爲自力を以て約三萬圓の改修工事を敢行する事となり縣當局に對し工事認可の申請をなすと共に三萬圓の工費は既に勸業銀行から借入れを了したが地元から屢々出縣陳情の結果愈々近日中認可さるゝ事となつたので大體來月初めから着工する事に決定した

江名に棧橋 漁獲物陸揚げの 工事認可さる

江名町では最近鰹漁船其他の大船が續々建造されつつあるが同港は海底殊の外淺く從來傳馬船を利用して漁獲物の陸上げを行つて居たがその不便一方でないので漁業組合では棧橋を架設し之の不便を取り除くべく工事認可申請中の處今二十二日愈々指令に接したので近く着工の筈であると

農村の指導督勵に 關係筋焦り出す
之儘で推移せばーこ 米作の前途に暗い翳

梅雨季同樣の鬱陶しい天候は依然繼續され稻作其他一般農作物の被害を深めつつある矢先に昨二十一日から稻作に取つて最も大切な土用に入つた。土用迄の天候が極めて不順で降雨量のみ多くして日照少かつた爲屢報の如くイモチ病或は黃斑性萎縮病の發生に今後の稻作を憂慮さるる外郡下一帶に涉り株張り草丈分蘖何れも不良な處へ昨二十一日土用入りの氣溫が僅か二十度と云ふ冷涼さで前途暗澹たる狀態に置かれて居る四月の苗代期以降五、六、七月中の分蘖成育期までの平均濕度は明治三十五年及び三十八年の凶作時と殆と同じなので關係筋では少からず今後の推移に就て憂慮して居り伏見平町長は今二十二日左の警告書を各區長宛に發したが郡農會等でも一般農家に注意書を發する準備中であると

一、除草の回數を成るべく減ずると共に淺く之を行ひ根の切斷を避け七月二十五日頃迄に之れを上ぐること

二、灌漑水は成るべく深水とし地溫の保持に努むること

三、今後の氣候順調なる場合は淺水となし肥料分解の促進に努むること

四、窒素質肥料其の他の追肥は成るべく之れを避くること

五、本年稻作生育の狀況一般に軟弱なるがため今後の天候冷涼なる場合は勿論天候順調なる場合と雖も稻熱病發生の虞あるの狀態に在るを以て其の防除に就き機宜を失せざるの措置を講ずること

雨◇雨
全く厭き飽きしたが 今日頃から良くなる
お日樣も拜めず 減多に無い昨日の土用入り低溫

土用入り昨二十一日朝の全國天氣概況なるものを聞くに

オホツク海の高氣壓は七百六十四粍でその一部は南西に延び關東に達し小笠原島南西洋上に七百六十粍の高氣壓がある。低氣壓は日本海北部より濟洲島附近及び東蒙古島にあり天氣は一般に惡い。關東から九州北部又朝鮮は雨で北海道は所々雨があるが九州、臺灣は快晴溫度は九州及四國南部が平年より稍々高く其他の內地は三四度低く北海道は五六度低溫となつてゐる

その途の人は語る

二十一日は土用入りであるが全國的に曇りで雨の降つてゐるのは關東九州北部まで、朝鮮及北海道は所々降つてゐる、之は八丈島の南にある低氣壓が九州沖にかけて不連續線のためでこの低氣壓は次第に日本海に移動して今日あたりからソロ／＼天氣がよくなると思ひます。今年は時季がグツト遲れてゐるので土用入りの氣溫が斯んなに惡い事は地方從來の記錄に徵し殆ど稀有の事である

四十年前も 斯んな事が
平町の古老は語る

四十年前にもちょうど今年の樣に毎日／＼雨ばかり降つた揚げ句洪水が出てそつちこつちに人死にがあり白銀町邊りでは箪笥などを流された家が少くなかつた

米檢鑑定會

平米穀檢査所では今二十二日午前九時から米穀檢査鑑定會を開催した

湯本町に消火栓
上水道と共に新設すべく 昨日平町の實況視察

湯本町上水道工事に就ては測量其他目下順調に進行中であるが同町消防組では町內の重要個所に六十間宛の間隔を置き六十個の水道消火栓を設置すべく計劃し其の準備として組頭井坂千代松氏外七名の幹部は昨二十一日平町に於ける消火栓並に一般消防施設を視察し井上組頭の說明をうけた

平町新風景
今日も降る！
下駄の齒入れのみかは
雨で當てた閣老の銅像

松ヶ岡公園の高臺。見はるかす磐前郡四十三村、磐城郡十一ヶ村菊多郡三村合せて五十七村の舊領地を深綠ドス黑き櫻の葉越しに眺め乍ら、巍然としてそそり立つ誇るべき吾等の閣老安藤公の英姿のいとも颯爽たる事よ！。舊藩の人達が無上に嬉しがるのも無理はないんです。

0

――人と爲り明敏、白皙長臍なり。之が當時に於ける安藤公のアウトラインであるとするなれば頭がクリーアで恰好がスマートで成る程それでこそ『米公使ハルリスの如き爲に啓沃する處多し』の文獻が無條件で首肯さるゝと云ふもんです。

――最も騎馬打毬を好む――當世ならゴルフ熱中のスポーツマン、まあ新智識として滿點は誰方も異論はありますまい。

0

咄。何者の狂漢ぞ！。麻の如き幕末の難局に處して裁決流るる如く酸素の樣な古刀の樣な快い切れ味を見せたそのクリーアを包藏するゝ髷の頂點から更に橫鬢タへかけて而も淋漓たる汚物の擲彈は！餘りに超世間的な鳥のアイ・ノッラズムにかかつては遉がの偉人傑士も臺なしなんです。

0

雨が續きました、最初は數日間ジメ／＼と根氣良く其のコビり着いて半ば風化して了つたのをウルかしに掛りました、そして良き程にウルけた處を第二期事業として今日もあすも、明後日も――と降り續いて丹念に洗ひ落しました。昨今の降りは第三期事業とも云ふべき仕上げなんです。

0

そのうち霽れませう。そして久し振りで公園へ上がつて見る平安會の幹部あたりがショボ／＼した眼で碧空を背景として立つ銅像を仰ぎ見乍ら『イヨー御立派だ事！』と如何に心からなる景慕讚歎の聲を發する事でせうか！、この雨で一と息ついた下駄の齒入れ屋の外に上層な處では安藤樣も當てたんであります。

投槍 寄書歡迎
今秋を憂ふ（下）

◇豐作であれば例へ米價が如何に安くても貧農は生活に間誤つかない。生活などと大裂裟に言はないでも喰ひぱぐれだけはどうやら免れる。なんとなれば彼等貧農には賣るべき幾何の米もないので、米の値段は小作人の生活とそれほど重大な關涉がないからである◇從つて豐作であることは賣米利得階級たる地主の打擊で小作人としては寧ろ利益である。米價安が齎す金融難と不景氣と失業との間接打擊を計算にいれないならば

◇然るに凶作に襲はれる場合、彼等は先づ喰ふべき食糧を先取しなければならない。凶作によつて收穫が激減した場合食糧を先取したる殘餘を小作米として納付し得るだらうか

◇勿論滿足な小作米の納付が出來る筈がない、今でさへ小作米の分配率について、農民は非常な疑問を持つて居る、凶作となつて貧農の生活に窮迫の拍車が加へられた場合、彼等は米を收穫するものの受ける權利に對して思想的な自覺を自然發生的に持つであらう

◇ここに爭議の蓋然性が必然的に植えつけられる。豐作によつて叩きつけられた地主は、今度凶作案じに戰々恟々としてゐる。この惡天候は地主をすつかり憂鬱にしてしまつた

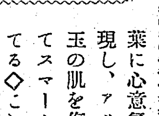
◇最も近く快晴にならない限り地主の心も快晴にならない。天氣と喧嘩は出來ないが人事を盡して天命を待つの最善を講ずることは來ん秋に備へる上に於て今や緊急の要務となつて居る

（赤井三島生）

一巡洋艦等 木曾便乘
嚴選の結果 四十五名に許可
◇平町の希望者約二百名中

橫須賀鎭守府管區內箇閱點呼のため二十八日小名濱灣に入港する一等巡洋艦木曾の小名濱鹽釜間便乘希望申込者は平町だけで百九十二名の多數に達し嚴選の結果左の四十五名に許可された

半谷政喜、半谷まさよ、橋本涉、坂木忠次、田村三也、相本信一郎、樫村慶、橋矢田千代壽、橋本四良、猪狩觀德、小野磐村上盟、大平百衛、花澤兎五六、松本充一、後藤桂仙、今宮政衛、磯貝豐阿部弘一、織田萬次郎、園部國安、谷口長治、加藤欽一郎、齋藤英三郎、馬目重藏、新妻實、吉村菊太郎、根本一馬、藁谷喜太郎、齋藤堅次郎、丹野利松、曳地敏、和貝勘次郎、加藤政保、鈴木武雄、堀功、鈴木政雄、佐藤繁、遠藤正治、鈴木正橋、宮澤勝三、下山田勉平塚二郎、新妻芳美、松本忠一、櫛田亮



艷罪黑白

◇歷史は繰返す利息も繰返す、おキャンな姐御が白い軟肌に朱入りの入れ墨をほこつた昔を今に、シークなモガは筋彫の花言葉に心意氣を表現し、アツタラ玉の肌を傷つけてスマートがつてる◇これから見るとあの妓などは斷然藝者の中のモダーンなことは、左の二の腕の入墨が證明してる、朝湯に匂ふ櫻の一枚但し其の短冊に『誰さん命』とあるかは知らず、醉ふと自慢に片肌拔ぎのタンカも南部なまりではチットも榮へず◇其外にも入墨の藝者が澤山あると聽いた幾ら藝者でも變な處へ彫つてるのが多いとは驚いた、處が皆んな橫根を切つたアトだとはナンだ

貴金屬を專門に 地方を荒し廻る
賍品を入質費消した 北好間の木村勇雄

既報――十九日夜好間村北好間醫者原重態方の留守を見澄まし鎖付きウォルサム金側時計一個價格二十圓を竊取した犯人に就き其筋で嚴探中昨二十一日午後十時頃同村地內を徘徊する擧動不審の男あるを平署員が怪しと見て連行嚴重取調べた處右は同村同字木村勇雄(二四)で前記の竊盜を働いた外貴金屬專門に郡內十數ヶ所を荒し廻つた事を自白したが賍品は何れも入質し巧に犯行を晦して居たもので金高も相當多額に上るらしいと

次ぎは 現金專門
同村鈴木庄次郎

一昨二十日午後二時頃好間村下好間相澤イヶ方で飲酒して居る擧動不審の小男あるので平署員が連行取調べると右は當時住所不定無職同村同字生れ坑夫鈴木藏次郎(二六)で去る三日同村山田某から現金五十圓を竊取した外昨年以來郡內各所から現金專門の賊を働らいてゐた事を自白したが餘罪ある見込で取調中

鹽の虛空藏
廿六、七兩日が例祭

神谷村鹽の福一滿虛空藏菩薩祭典は二十六、七の兩日執行護摩祈禱をなす外餘興として花火、物眞似、奇術種明し、民謠其他があり例年通り雜踏を見る事となるべく附近村落の男女は今から樂しみ待つてゐる

貯金魔に一年半
元平局員阿保俊助に けふ平支部の判決

平町胡摩澤二三元郵便局員阿保俊助(三三)に係る公文書僞造行使並に詐欺未遂事件の判決は今二十二日午前九時平支部廷に於て中島裁判長係り市川檢事關與官選千葉辯護士立會求刑通り懲役一年六ヶ月を言渡された

馬の貧血病續發
之の天候で蔓延の兆あり ◇山間部農村怯に立つ

永戶村渡戶農會田朝雄及同村合戶澤井勇一所有の各牝馬四才は何れも昨二十一日傳染性貧血病と判明したが同病は既報の如く猛烈な傳染性を有し未だ病原菌が發見されぬ爲撲殺の外豫防方法が絕無なばかりでなく潛伏期が永くて早期の發見至極困難で昨今の天候不順から蔓延を助勢される傾あるので郡產馬組合では目下大童で之が防止に努めてゐる

各官廳正午退廳
□□□□□□□
平町の各官廳は他方面同樣昨二十一日の土用入りから何れも正午退廳となつた

空手形を發行

磐崎村大字藤原高木左久馬(三〇)は最近湯本町旅館兼料理店昭和館に於て二百餘圓の大豪遊をなし七七銀行小名濱支店拂の空手形を發行して渡した廉で今二十二日其筋の取調べを受けた

宿錢を踏む

平町杉平二一和田信夫(四二)內妻志賀チヨノ(三七)の兩名は五月十七日から去る七日迄東京淺草區男山安達屋旅館事山崎榮七方に宿泊し宿泊料五十餘圓を滯つたが歸鄕後支拂ふ約束で引上げ乍ら今以て支拂はぬからと山崎から今二十二日兩名への說諭方を平署へ願出た

農繁の犧牲
遊戲中の幼兒溺死

澤渡村上市萱諏訪五〇農彌助孫阿部トヱ(三)は十六日午後四時頃自宅前で水遊中誤つて好間川に轉落溺死したのを野良稼ぎから歸つた家人が發見驚いて其筋に屆け出た

○○○○○○○

神谷村消防顧問

神谷村元消防組頭木村幸雄並に同村有力者鈴木善治の兩氏は今二十二日附で內田警察部長より消防組顧問に推薦された

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡） 電話五五九番

貸切は●親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任 澤 正路

夏帽子 子供服 特賣
ウルトラな3I型の麥帽子 四〇錢
シークな小供服 トプラルコ製 一五錢
『日傘パラソル。ワイシャツ クレツプシャツ 取揃へマシタ』
モリタヤ洋品店
平五丁目 電三五三番

頭痛。神經痛。
肩癖。リウマチス。
其他慢性諸病
平電氣治療院
平町字胡摩澤一一六